

令和2年度 小平市 わかりやすい予算



小川用水（魁（さきがけ）の流れ）
（上宿公民館北側付近）



小川用水（八雲せせらぎ水辺）
（神明宮南側付近）



新堀用水のり面（胎内堀）保全整備
（小川橋西側付近）

小平市内を流れる用水路は、開拓の歴史を
残す貴重な財産となっています。



小川用水（ハッピーとんぼ池）
（なかまちテラス南側付近）

主要事業・予算概要説明書

はじめに

小平市の人口は微増を続けておりますが、現在、策定を進めております次期長期総合計画の期間においては、いよいよ減少局面へと入っていくものと予想されております。

他方、地球規模の気候変動の影響が指摘される中、昨年は、関東圏においても大きな台風被害が相次ぎ、地震以外の災害への備えなど、地域の安全・安心への関心もますます高まっております。

こうした時代の大きな転換期をおそれることなく、「参加」と「協働」を市政の根幹に据えて、市民の皆様や地域のさまざまな団体とともに、まちの魅力の向上や、課題の解決に取り組んでまいりたいと考えております。

小平市にとりまして、令和2年度は、これまで検討や調整を重ねてまいりました、市街地再開発事業や大規模公園の整備、あるいは公共施設マネジメントの取組による施設の複合化などのさまざまな大型事業が、本格的に動き出していく年になります。

来るべき新たな時代を見据えながら、今後の小平のまちの姿を形づくる取組の具体化を図っていく1年として、各事業を着実に推進し、次の長期総合計画のスタートへとつないでまいります。

なお、この「わかりやすい予算」は、令和2年度の主な事業をできるだけわかりやすく説明するとともに、小平市の財政事情を理解していただくために作成いたしました。

今後も市の行政運営について、よりいっそうわかりやすくお伝えできるよう努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

小平市長 小林 正 則

目 次

第1	予算の編成にあたって	1
第2	財政規模	1
第3	令和2年度の主な事業の一覧	2
第4	主な事業の説明	4
	1 安全・安心で、いきいきとしたまちをめざして (地域・安全・生活・文化)	4
	2 快適で、ほんわかとするまちをめざして (緑・水・環境)	9
	3 健康で、はつらつとしたまちをめざして (次世代育成・健康福祉・教育・生涯学習)	15
	4 住みやすく、希望のあるまちをめざして (都市基盤・交通・産業)	27
	5 健全で、進化するまちをめざして (地方自治・行財政)	34
	参考資料	37
	一般会計予算について	38
	1 予算のポイント	38
	2 歳入予算について	39
	3 歳出予算について	41
	4 小平市の財政状況	45
	特別会計・下水道事業会計予算について	51
	市役所の組織と連絡先	55

第1 予算の編成にあたって

令和2年度は、「小平市第三次長期総合計画」の最終年度であるとともに、今後のまちづくりの方向性を示す節目の年度です。時代の変化にあわせ、地域における多様な主体と、未来への希望をしっかりと共有するとともに、デジタル技術の活用による業務の効率化など、行政システムの変革に取り組みながら、小平市がより魅力的なまちとなるための予算として編成しました。

第2 財政規模

令和2年度の一般会計予算規模は、690億8,600万円で、対前年度比較で4.1%の増となりました。

また、一般会計に3つの特別会計をあわせた総予算額は、1,047億1,700万円で、前年度と比較して、3.6%の増となりました。

令和2年度当初予算額

区 分	令和2年度	令和元年度	対前年度比較	
			増減額	増減率(%)
一 般 会 計	690億8,600万円	663億4,600万円	27億4,000万円	4.1
国民健康保険事業特別会計	169億9,600万円	168億6,600万円	1億3,000万円	0.8
後期高齢者医療特別会計	44億7,000万円	43億4,900万円	1億2,100万円	2.8
介護保険事業特別会計	141億6,500万円	135億4,500万円	6億2,000万円	4.6
合 計	1,047億1,700万円	1,011億 600万円	36億1,100万円	3.6

区 分	令和2年度	令和元年度	対前年度比較	
			増減額	増減率(%)
下 収 益 的 収 入	43億5,116万1千円	43億4,950万9千円	165万2千円	0.0
水 収 益 的 支 出	39億4,553万4千円	39億7,411万2千円	△ 2,857万8千円	△ 0.7
道 資 本 的 収 入	10億9,744万1千円	11億9,969万2千円	△ 1億 225万1千円	△ 8.5
事 資 本 的 支 出	17億9,730万8千円	21億1,684万7千円	△ 3億1,953万9千円	△ 15.1
業 収 入 合 計	54億4,860万2千円	55億4,920万1千円	△ 1億 59万9千円	△ 1.8
会 支 出 合 計	57億4,284万2千円	60億9,095万9千円	△ 3億4,811万7千円	△ 5.7
計				

第3 令和2年度の主な事業の一覧

～5つの施策の体系に基づいて事業を展開します～

1	安全・安心で、いきいきとしたまちをめざして —地域・安全・生活・文化—	ページ
	参加・協働の推進	4
	男女共同参画推進計画の策定	4
	防犯対策の充実	5
	庁舎非常用電源設備の強化	5
	被災者用備蓄の整備	5
	防災行政無線（固定系）のデジタル化改修	6
	小平市地域防災計画の修正	6
	沿道建築物の耐震化等の促進	6
	消防団の機能強化	7
	ルネこだいらの設備改修	7
	鈴木遺跡国指定史跡化等の推進	8
	☆ その他の事業	8
2	快適で、ほんわかとするまちをめざして —緑・水・環境—	ページ
	市民の力による身近な緑を育む取組	9
	特別緑地保全地区用地の取得	9
	鎌倉公園、鷹の台公園、武蔵公園の整備	10
	みどりの基本計画の策定	10
	地下水活用による流水再生に向けた用水路の整備	10
	公共下水道長寿命化対策の推進	11
	公共下水道雨水整備の推進	11
	下水道プランの策定	12
	環境基本計画の策定	12
	E S C O事業を活用した照明L E D化等	12
	省エネルギー・創エネルギーの推進	13
	電気自動車導入の拡充	13
	食物資源資源化推進事業の拡充	14
	リサイクルセンター地域還元エリアの整備	14
	☆ その他の事業	14
3	健康で、はつらつとしたまちをめざして —次世代育成・健康福祉・教育・生涯学習—	ページ
	学童クラブの新設	15
	民設民営学童クラブに対する補助金制度の創設	15
	子ども広場事業の充実	15
	認可保育園(私立保育園)の新設	16
	認可保育園等の使用済みおむつの処理費補助	16
	小平市認定家庭福祉員（都制度）の家庭的保育事業（国制度）への移行	16
	ひとり親家庭・生活困窮者学習支援事業におけるICT活用	17
	☆ その他の事業（次世代育成）	17
	子育て世代包括支援センターの開設	17
	予防接種スケジュール管理等モバイルサービスの開始	18
	ロタウイルスワクチン予防接種	18
	子育て応援サイト管理運営支援	18

受動喫煙防止リーフレット（駅前公衆喫煙所マップ付）の作成	18
こいだら健康ポイント事業	19
地域包括ケア推進計画の策定	19
地域における介護予防や支え合い等への支援の充実	19
高齢者の見守り体制の充実（ふるさと納税返礼品の追加）	19
地域密着型介護サービスの整備支援事業	20
障がい者福祉計画、障害福祉計画及び障害児福祉計画の策定	20
心身障害者（児）日常生活用具給付事業の拡充	20
障がい者グループホームの自立支援給付費等の支援	20
児童発達支援センターの整備	21
自立相談支援機関におけるひきこもり相談・支援の実施	21
☆ その他の事業（健康福祉）	21
学校施設の整備	22
花小金井南中学校地域開放型体育館の建設	22
小学校給食調理業務の委託化	23
学校給食センターの更新	23
特別支援教育総合推進計画（第二期）前期計画の策定	24
特別支援教育の充実	24
教育のICT化の推進	24
学校における働き方改革	25
コミュニティ・スクールの充実	25
小川西グラウンドの人工芝化	26
☆ その他の事業（教育・生涯学習）	26

4 住みやすく、希望のあるまちをめざして —都市基盤・交通・産業—

	ページ
小川駅西口地区市街地再開発事業の推進	27
小平駅北口地区市街地再開発事業の推進	27
鷹の台駅前広場用地の整備	28
市道の無電柱化事業	28
都市計画道路整備・鉄道立体化の推進	28
道路整備事業の充実	29
市内公共交通の充実	29
駅前自転車駐車場整備	31
農地の創出支援事業	31
都市農業活性化支援事業	31
農業体験ファーム（体験農園）整備事業	32
農商連携地産地消・商業活性化推進プロジェクト	32
子育て中の女性の就労促進事業	33
観光まちづくりの推進	33
☆ その他の事業	33

5 健全で、進化するまちをめざして —地方自治・行財政—

	ページ
（仮称）小平市第四次長期総合計画の策定	34
市政世論調査の実施	34
RPA、AI-OCRの導入による課税事務の効率化	34
住民情報システムの再構築	35
建築基準行政の実施に向けた準備	35
小川駅西口地区市街地再開発事業公共床等の整備（公共施設マネジメントの推進）	35
中央公民館、健康福祉事務センター及び福祉会館の複合化（公共施設マネジメントの推進）	36
十一小の更新等事業（公共施設マネジメントの推進）	36

第4 主な事業の説明

1 安全・安心で、いきいきとしたまちをめざして —地域・安全・生活・文化—

安全で安心して過ごすことができ、みんながいきいきとしているまち、だれもが充実した生活を送るとともに、文化や芸術が豊かな誇り高い自信に満ちたまちの実現をめざします。

◆参加・協働の推進

305万8千円

担当：市民協働・男女参画推進課、文化スポーツ課、水と緑と公園課

令和2年度小平市一般会計予算書掲載ページ：78、80、86、
(以下予算書掲載ページ) 234、236、316、318

平成30年度に改定した小平市協働の推進に関する指針に基づき、市が提示した課題及び事業を、行政提案型のいきいき協働事業及び提示型公募事業として、市民活動団体と協働で実施します。
また、市民活動人材バンク「こだいら人財の森」の周知のため、体験型の連続講座等を行います。

予算の内訳（使いみち）

- いきいき協働事業の実施 180万円
 - ・スポーツ&カルチャー2020フェスティバル in小平
 - ・樹林に対する新たな魅力の創出と保護意識の啓発
 - ・男女共同参画と多様性を考える連続講座
- 提示型公募事業の実施 70万8千円
(チラシ・ポスター作成委託、公募事業補助)
- 市民活動の裾野の拡大 55万円
(「こだいら人財の森」の運用及び体験型連続講座の開催委託)



地域デビュー体験講座の様子

財源内訳

- 都の負担額 85万7千円
- 小平市の負担額 220万1千円

◆男女共同参画推進計画の策定

354万7千円

担当：市民協働・男女参画推進課

予算書掲載ページ：86

現在の「第三次小平市男女共同参画推進計画（小平アクティブプラン21）」の計画期間が、令和3年度で終了することから、令和4年度から5年間を対象期間とする次期計画を令和2・3年度で策定します。

令和2年度は、市民意識調査及び市内事業所の実態調査を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 市民意識調査等 354万7千円

財源内訳

- 都の負担額 64万4千円
- 小平市の負担額 290万3千円

◆防犯対策の充実

担当：地域安全課

238万9千円

予算書掲載ページ：74、76

地域団体が行う防犯のための見守り活動の一環として、防犯カメラ設備を整備する団体（学園西町会）に対して、整備にかかる経費の補助を行います。

また、特殊詐欺等の被害を防止するための自動通話録音機を購入し、高齢者が居住する世帯に対して貸与します。

予算の内訳（使いみち）

- 防犯カメラ設備補助 180万6千円
- 自動通話録音機購入（100台） 58万3千円

財源内訳

- 都の負担額 137万4千円
- 小平市の負担額 101万5千円



令和元年度購入の自動通話録音機（イメージ）

◆庁舎非常用電源設備の強化

担当：総務課

1,179万9千円

予算書掲載ページ：54

防災拠点となる本庁舎の非常用電源設備について、72時間の稼働時間を確保します。令和2年度に基本設計・実施設計を行い、令和3年度から4年度にかけて改修工事を行う予定です。

予算の内訳（使いみち）

- 庁舎非常用電源設備改修工事設計 1,179万9千円

財源内訳

- 都の負担額 589万9千円
- 小平市の負担額 590万円
（うち市の借金 460万円）

◆被災者用備蓄の整備

担当：防災危機管理課

3,001万3千円

予算書掲載ページ：74

災害時の応急対策として、避難者等に配布する食料や、避難所の運営に必要な資機材を備蓄します。

予算の内訳（使いみち）

- 備蓄品購入費 3,001万3千円

財源内訳

- 都の負担額 1,150万円
（市町村総合交付金）
- 小平市の負担額 1,851万3千円



避難者に配布する食料や避難所開設のための資機材

◆防災行政無線（固定系）のデジタル化改修

1億3,789万1千円

担当：防災危機管理課

予算書掲載ページ：72、74

アナログ通信方式の防災行政無線をデジタル通信方式へ入れ替えます。平成30年度から令和4年度までの5カ年の計画で改修工事を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 環境保全計画策定 9万9千円
- デジタル化改修工事 1億3,779万2千円

財源内訳

- 小平市の負担額 1億3,789万1千円
(うち市の借金 1億3,770万円)



デジタル化改修する防災行政無線

◆小平市地域防災計画の修正

386万6千円

担当：防災危機管理課

予算書掲載ページ：72

令和元年度の東京都地域防災計画（震災編）等の修正に伴い、現行の計画を令和2年度から3年度までの2カ年で修正します。

予算の内訳（使いみち）

- 委員報酬 10万8千円
- 計画修正支援業務委託 375万8千円

財源内訳

- 小平市の負担額 386万6千円

◆沿道建築物の耐震化等の促進

6,476万6千円

担当：建築指導準備課

予算書掲載ページ：228

ブロック塀の撤去に係る費用の補助を拡充するとともに、引き続き、特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化を促進します。

予算の内訳（使いみち）

- ブロック塀撤去改良補助 789万円
- 特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震改修補助 5,687万6千円

財源内訳

- 国の負担額 3,173万8千円
- 都の負担額 2,188万6千円
- 小平市の負担額 1,114万2千円



ブロック塀倒壊事例（出典：(財)消防科学総合センター）

◆消防団の機能強化

担当：防災危機管理課

140万8千円

予算書掲載ページ：240、242

消防団の機能強化や地域防災力の向上を目的に、火災予防広報や応急救護の普及指導、及び消防団活動についての地域住民へのPR等の業務に従事する団員を3人採用します。

予算の内訳（使いみち）

●被服費の購入等 140万8千円

財源内訳

■都の負担額 57万円
（市町村総合交付金）
■小平市の負担額 83万8千円

◆市民文化会館（ルネこだいら）の設備改修

担当：文化スポーツ課

5,149万3千円

予算書掲載ページ：84

市民文化会館（ルネこだいら）の利用環境を向上させるため、設備改修を行います。令和2年度は、中ホールのパワーアンプの更新、地下雨水槽の改修工事を行います。

予算の内訳（使いみち）

●パワーアンプ更新 3,509万円
●地下雨水槽改修工事 1,640万3千円

財源内訳

■都の負担額 1,020万円
（市町村総合交付金）
■小平市の負担額 4,129万3千円
（うち市の借金 3,860万円）



ルネこだいら大ホール

◆鈴木遺跡国指定史跡化等の推進

659万4千円

担当：文化スポーツ課

予算書掲載ページ：288、290

令和3年3月の鈴木遺跡の国指定史跡化を目指します。市民向けに遺跡の概要・解説等をまとめたパンフレットの作成及び周知・啓発を行います。また、鈴木遺跡保存管理等用地（旧農林中央金庫研修所）の除草・樹木剪定などの維持管理を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 市民向けパンフレット作成等 272万1千円
（委員謝礼、旅費、印刷製本費、消耗品等）
- 保存管理等用地維持管理費 387万3千円

財源内訳

- 国の負担額 134万8千円
- 都の負担額 2万4千円
- 小平市の負担額 522万2千円



鈴木遺跡の発掘調査の様子

☆その他の事業

- ◆地域センター19館維持管理経費
（会計年度任用職員報酬、光熱水費、建物定期清掃など） 2億3,340万5千円
- ◆消防団関係運営経費
（消防団員報酬、出勤手当、消耗品費、備品購入費など） 7,109万4千円

2 快適で、ほんわかとするまちをめざして — 緑・水・環境 —

緑が豊かな武蔵野の自然に囲まれ、環境にやさしいまち、だれもが安らぎ快適な生活を送るとともに、地球環境に配慮した賢いまちの実現をめざします。

◆市民の力による身近な緑を育む取組

113万8千円

担当：水と緑と公園課

予算書掲載ページ： 232、234
236

こだいら名木百選に選ばれた名木に対し剪定費用を補助するとともに、公募モニターによる小鳥の観察をまとめたリーフレット作成を行う「身近なピオトープづくり支援」、グリーンフェスティバルにおいて、みどりに関する相談ができる「みどりの相談所」、公園等ボランティアに参加している団体のアダプト制度への移行について取組を行います。

予算の内訳（使いみち）

- こだいら名木百選 剪定費補助 40万円
- 身近なピオトープづくり支援 謝礼 3万円
- 身近なピオトープづくり支援 報告書 16万1千円
- みどりの相談員 謝礼 6万円
- 公園等アダプト制度 消耗品等 48万7千円



ピオトープを訪れたメジロ

財源内訳

- 小平市の負担額 113万8千円

◆特別緑地保全地区用地の取得

1億9,460万円

担当：水と緑と公園課

予算書掲載ページ： 234、236

平成29年度に土地開発公社が先行取得を行った上水新町一丁目特別緑地保全地区用地を、令和元年度に引き続き2カ年で取得するほか、同じく上水新町一丁目地内で令和元年度に都市計画決定をした樹林地を取得し、みどりの保全を図ります。

予算の内訳（使いみち）

- 土地購入費 1億9,296万7千円
- 土地鑑定費 152万7千円
- 標識設置 10万6千円



上水新町一丁目特別緑地保全地区

財源内訳

- 国の負担額 6,432万1千円
- 小平市の負担額 1億3,027万9千円
 - （うち市の貯金取崩し 1,457万9千円）
 - （うち市の借金 1億1,570万円）

◆鎌倉公園、鷹の台公園、武蔵公園の整備

5,034万2千円

担当：水と緑と公園課

予算書掲載ページ：234

鎌倉公園については事業認可図書の作成等、鷹の台公園についてはアンケート調査、武蔵公園については公園設計等を行います。

予算の内訳（使いみち）	
●鎌倉公園 事業認可図書の作成等	3,534万2千円
●鷹の台公園 アンケート調査	200万円
●武蔵公園 公園設計等	1,300万円

財源内訳	
■小平市の負担額	5,034万2千円



現在の鷹の台公園予定地

◆みどりの基本計画の策定

400万円

担当：水と緑と公園課

予算書掲載ページ：236

「みどりの基本計画」について、令和3年度から10年間を計画期間とする次期計画を策定します。

予算の内訳（使いみち）	
●計画策定支援等	400万円

財源内訳	
■小平市の負担額	400万円
（うち市の貯金取崩し 400万円）	

◆地下水活用による流水再生に向けた用水路の整備

2,000万円

担当：水と緑と公園課

予算書掲載ページ：220

歴史的な遺産である市内用水路の流水再生に向けて、JR武蔵野線の地下水の一部を市内用水路に放流し、水量の増加に対応するため、護岸工事や堆積した土砂の浚渫等を行います。

予算の内訳（使いみち）	
●護岸修繕・浚渫等	2,000万円

財源内訳	
■小平市の負担額	2,000万円
（うち市の貯金取崩し 1,650万円）	



護岸修繕の様子

◆公共下水道長寿命化対策の推進

5億5,808万1千円

担当：下水道課

令和2年度小平市下水道事業会計予算書掲載ページ： 19、26

鈴木処理分区の長寿命化対策工事を進め、下水道管路施設の長寿命化を図るほか、令和9年度以降に長寿命化対策工事を予定している上水南処理分区について、管路調査等を実施します。

予算の内訳（使いみち）

●修繕	3,188万1千円
●調査・改築等	5億2,620万円

財源内訳

■国の負担額	1,995万円
■都の負担額	99万7千円
■小平市の負担額	5億3,713万4千円
（うち市の借金 2億2,680万円）	



下水道管きよの調査の様子

◆公共下水道雨水整備の推進

4億2,977万2千円

担当：下水道課

令和2年度小平市下水道事業会計予算書掲載ページ： 26、27

分流式下水道区域の浸水対策を図るため、雨水管きよの設計や、大沼町1・2・4丁目及び花小金井5丁目で管きよ築造工事を実施します。また、東久留米市施工の負担金工事として1箇所の雨水整備を実施します。

予算の内訳（使いみち）

●管きよ築造工事	3億5,805万5千円
●東久留米市への負担金	2,000万円
●設計等委託	3,805万5千円
●事業認可変更	1,366万2千円

財源内訳

■国の負担額	5,816万円
■都の負担額	290万8千円
■小平市の負担額	3億6,870万4千円
（うち市の借金 3億1,460万円）	



雨水管きよ築造工事の様子

◆下水道プランの策定

500万円

担当：下水道課

令和2年度小平市下水道事業会計予算書掲載ページ： 22

現在の「下水道プラン」の計画期間が令和2年度で終了することから、令和3年度から10年間を計画期間とする次期の計画を策定します。

予算の内訳（使いみち）

●策定業務委託 500万円

財源内訳

■小平市の負担額 500万円

◆環境基本計画の策定

730万8千円

担当：環境政策課

予算書掲載ページ： 188

次期環境基本計画を、地域エネルギービジョン及び第二次エコダイラ・オフィス計画を組み込むとともに、新たに生物多様性地域戦略を加えて策定します。計画対象期間は令和3年度からの10年間とし、令和2年度は事業者アンケートやワークショップのほか、自然観察会等を行い策定します。

予算の内訳（使いみち）

●計画策定等委託 687万5千円
●自然観察会委託 30万円
●環境審議会委員報酬（増加分） 13万3千円

財源内訳

■都の負担額 65万円
■小平市の負担額 665万8千円



市民ワークショップの様子

◆ESCO事業を活用した照明LED化等

0千円

担当：教育総務課、文化スポーツ課

予算書掲載ページ： 347、348

ESCO事業（省エネルギー改修にかかる経費を光熱水費の削減分で賄う事業）を活用し、建替え予定の第十一小学校を除く全小・中学校（26校）、市民総合体育館及び中央公園グラウンドの照明をLED化するとともに、市民総合体育館温水プールのボイラー更新を行います。令和2年度は債務負担行為を設定します。

予算の内訳（使いみち）

●整備等委託 0千円

財源内訳

■小平市の負担額 0千円

◆省エネルギー・創エネルギーの推進

担当：環境政策課

1,037万円

予算書掲載ページ：188

二酸化炭素排出量の削減やエネルギーの地産地消を図るため、市民・事業者に対して、太陽光発電設備、燃料電池を設置する際の費用の一部を助成します。また、新設する八小学童クラブ第二・第三に太陽光発電設備を設置します。

省エネルギーへの取組としては、「市民版環境配慮指針」の啓発支援講座や、Web・アプリ版環境家計簿の普及啓発により推進します。

予算の内訳（使いみち）

- 新エネルギー機器設置モニター助成 1,000万円
- Web・アプリ版環境家計簿保守 32万6千円
- 講師謝礼 4万4千円
（八小学童クラブ第二・第三への太陽光発電設備の設置費は、「学童クラブの新設」事業に含めて予算計上。）

財源内訳

- 小平市の負担額 1,037万円



太陽光発電設備

◆電気自動車導入の拡充

担当：総務課、市民課、市民協働・男女参画推進課、環境政策課、資源循環課、水と緑と公園課、建築指導準備課、道路課

2,288万9千円

予算書掲載ページ：52、76、98、184、190、214、228、232

電気自動車の導入を拡充し、二酸化炭素排出量の削減に取り組むことで、環境負荷の軽減を図ります。

予算の内訳（使いみち）

- 車両購入 1,749万6千円
- 庁舎地下2階電源設置修繕 214万5千円
- 庁舎地下2階分電盤工事 281万6千円
- 車両保険 36万円
- リサイクル料 7万2千円

財源内訳

- 都の負担額 2,000万円
（市町村総合交付金）
- クリーンエネルギー自動車導入事業費補助金 175万5千円
- 小平市の負担額 113万4千円



電気自動車

◆食物資源資源化推進事業の拡充

担当：資源循環課

1,488万3千円

予算書掲載ページ：196

家庭から出る生ごみを回収して堆肥化する取組の参加世帯を拡充します。また、食物資源処理機器購入費の補助を拡充します。

予算の内訳（使いみち）

●食物資源循環業務委託	1,288万3千円
●食物資源循環機器購入費補助	200万円

財源内訳

■手数料	222万9千円
■小平市の負担額	1,265万4千円

◆リサイクルセンター地域還元エリアの整備

担当：資源循環課

7,282万6千円

予算書掲載ページ：196

旧リサイクルセンター解体後跡地に整備する地域還元エリアについて、令和元年度に行った詳細設計をもとに、令和2年度から3年度にかけて整備工事を行います。

予算の内訳（使いみち）

●地域還元エリア整備工事	7,220万円
●解体跡地バリケード保守点検委託	62万6千円

財源内訳

■小平市の負担額	7,282万6千円
（うち市の借金 5,410万円）	



新しい地域還元エリア（イメージ図）

☆その他の事業

◆公害対策・環境保全等経費	1,998万3千円
◆塵芥処理経費（ごみ収集、処分など）	27億9,882万円
◆し尿処理費	5,526万1千円
◆資源循環推進経費 （資源循環の推進、リサイクルセンターの管理運営など）	5億1,909万6千円
◆用水路経費（整備、維持管理、雨水浸透など）	5,473万9千円
◆公園緑地経費（維持管理、緑地の保全など）	2億8,787万7千円
◆下水道事業経費（下水道事業会計への繰出金）	11億5,400万円